

ifia JAPAN2019 目的と行動計画

	小目的	具体的行動	終わったあとの状態
目的: 1 【知識の拡大】	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ(食品分野の動向、キーワード) ・食品関連 分析装置の知識をつける(入門) ・食品を軸にした「派生部分」に目を向ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ゾーンを通じ、「トレンド」や「現状の課題」を把握 ・分析装置メーカーのセッションに複数参加 ・食品製造企業「以外」のブース見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートにたくさんのキーワードが書かれている ⇒後日分析 ・食品に関わる分析装置の具体的なイメージを持っており、かつ簡単に説明できる(最低3種) ・新しい切り口、可能性がある分野を認識して、そこにどう広げていけるかイメージできている
目的: 2 【仕事の種探し】	<ul style="list-style-type: none"> ・主力企業における攻めの「方向」と「方法」を知る(製品、素材、技術etc) ・具体的製品を通じたカテゴリ拡大余地の予測 ※中→日、日→中 に展開している企業に注力 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国企業ブース訪問、当業者ヒアリング(今後の日本への展開や市場見込み等) ・中国食品関連市場に関係するプログラムに参加 ・名刺交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース訪問企業の特徴及び主力技術が把握できている ・注目すべき中国の食品製造企業、技術、市場が整理できている ・当業者と接点をもっている(最低5企業)
目的: 3 【資源配分の再考】	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な資源配分プランの構築 <ul style="list-style-type: none"> →現状認識 →不足点の洗い出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な接点づくり <ul style="list-style-type: none"> →会話、質問による相手の反応チェック ・セミナー参加による理解度チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習方法を変える必要があるか否かがわかっている ・不足点が明らかになり、次期ステップで注力すべき具体的項目がわかっている <p>この2点から、プランの再構築を実施</p>
(おまけ)リフレッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に刺激を与える ・トライアル前の気合い入れ直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・(事前に)髪を切りにいく ・ワクワクを楽しむ! ・帰りに美味しい何かを買って帰る 	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってよかったと心底思っている ・新たな宿題に対して存分に思い悩んでいる(次の成長への道)